

東光寺報

●編集・発行
曹洞宗 東光寺
☎359-0012
所沢市坂之下383番地
TEL/04-2944-3531
FAX/04-2945-2408

この道を行こう

東光寺兼務住職

松永全隆



お釈迦さまは私達に多くの教えを説かれていきます。それは私達は心の悩み、苦しみ、迷い、悲しみなどを持つているからです。人生をいきるとは諸苦をのり越え歩みつつけるということなのです。お釈迦さまの教えを杖として懸命に歩みつつねばなりません。光明の朝の扉は自からの手によって開くべきものです。そこには精進努力の文字が心底にしつかりときざまれている筈です。

さて、お釈迦さまの尊いお導きの中、どの道を選ぶべきか迷うことがあるかも知れませんが、その時のために次のようなことばをおくります。

「ふみわたるふもとの道は多いけれど、同じたかねの月を見るかな」月とお釈迦さまの説かれた教えであります。

台掌

御冥福をお祈りいたします



前会長の星野清様が平成十八年七月三十日お亡くなりになりました。生前の東光寺への御努力に感謝申し上げます。

東光寺の近況



檀徒会会長
内田久雄

東光寺の近況を御報告申し上げます。檀徒総代として御活躍下さった星野清会長が、平成十八年七月三十日、必死の闘病にもかかわらず亡くなられました。永年にわたって東光寺の為に尽くして下されましたが、不帰の客となりました。役員始め檀家の皆様様に御丁寧なる御厚志まことに有り難うございました。故人また家族に代って厚く御礼申し上げます。

次に昨年申し上げた様な気が致しますが、鳥のいたずらにはほとほと参って居りましたが、昨年は鳥除けを致しましたところ悪戯も七割防除出来る様になりました。本年も徹底した鳥除けをする様考えております。

次に申し上げます。東京の塩部政治様が東光寺の金毘羅様へ唐獅子を一對御奉納して下さいました。石像で見事なものです。金毘羅様へお参り下されば唐獅子が皆様方を迎えて呉れます。塩部様には六年前でしようか、石燈籠

も御奉納頂いて居ります。皆様様に御報告すると共に塩部様に心より御礼申し上げます。有り難うございました。

続いて申し上げます。東光寺の今後大黒柱となる俊成和尚が大学を修了し東光寺の総本山である永平寺へ修業に上山致しました。朝早くから夜おそく迄大先輩和尚のきついきつい修業を受けて居ると思えます。

先般の役員会に俊成和尚の母堂より報告がありました。その報告を聞いた役員が、しばらく永平寺の参拝もしていないとの話から、俊成和尚を慰労し激励しようと話が決まり、十月を予定して、本山永平寺参りが決定致しました。近々檀家の皆様へ本山参りのお知らせが参るはずですが、その時は都合もありましようが、是非御参加をお願い致します。

申しおくれましたが、東光寺檀徒総代の会長を務めさせて頂いて居ります内田でございます。今後の皆々様の御健勝をお祈り致し、御挨拶を致します。

